

福島第一原子力発電所 2号機燃料取扱設備設置に向けたオペフロ内線量調査開始について

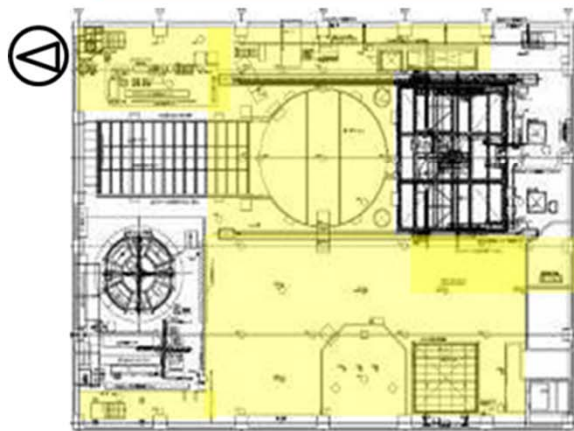
< 参 考 資 料 >
2 0 2 1 年 2 月 4 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

【概要】

- 2号機原子炉建屋使用済燃料プールからの燃料取り出しについては、原子炉建屋南側に設ける燃料取り出し用構台から燃料取扱設備を出し入れすることで、燃料取り出し作業を実施する予定です。
- これまで燃料取り出しに向け、燃料取扱設備の設置等に干渉するオペレーティングフロア（以下、オペフロ）の残置物等について移動・片付を行ってきました。
- 2020年11月にオペフロ内の残置物撤去（コンテナ搬出）が完了したことから、オペフロ内の線量等の調査を本日（2月4日）開始し、3月上旬まで実施する予定です。
- 得られた線量測定結果を評価し、更なる線量低減を検討してまいります。

調査内容

- ✓空間線量率測定（床高さ：約1.5m）
- ✓γカメラ撮影（オペフロ全域）
- ✓表面汚染測定（床面，壁面：床高さ約1.5m）



■ 今回調査範囲
(壁面：約1.5mの高さを調査)

調査に用いる遠隔操作機器

調査に用いる遠隔操作機器			
遠隔操作機器	 BROKK400D	 Kobra	 Packbot
役割	・γカメラ測定	・空間線量率測定，表面汚染測定 ・調査助勢	